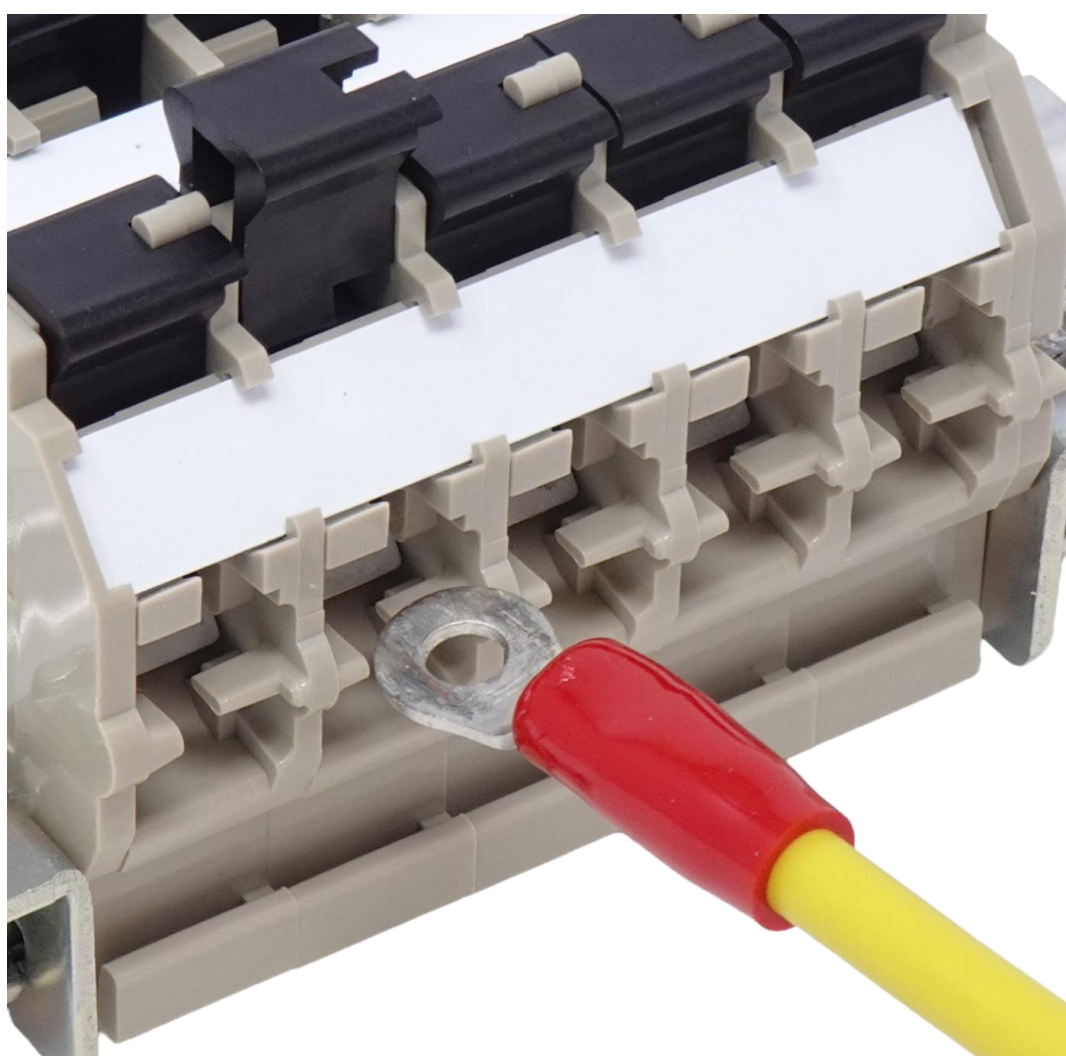


取扱ガイドライン

RT series／RT5.5

2026.7. Rev.1



目次

- 1.はじめに
- 2.安全上の注意事項
- 3.一般仕様
- 4.各箇所の説明
- 5.接続する上での注意事項
- 6.接続の手順について
- 7.適合圧着端子について
- 8.テスターの使用について
- 9.組立時のポイント
- 10.保証について
- 11.技術サポート問合せ先
- 12.各種QRコード

1.はじめに

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。

本製品をご使用いただく際にはこの注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。
なお、本製品は品質向上などの理由により予告なく仕様を変更する場合があります。
それに応じて当内容についても予告なく変更する場合があります。あらかじめご承知おきください。

2.安全上の注意事項

警告 誤った使い方をを行った場合に、軽傷中傷程度の障害を負う可能性や
万一の場合重症や死亡に至る恐れがあります。
また、同様に物的損害が発生する可能性があります。

注意 誤った使い方をを行った場合に物的損害が発生する可能性があります。

警告

- ・感電や破損の恐れがあるため必ず電源を切ってから作業してください。
- ・感電防止のため丸型圧着端子は必ず絶縁キャップなどで保護してください。
- ・必ず定格内でご使用ください。電圧や電流が定格を超えた場合、火災や感電事故が発生させる原因となります。
- ・高温、多湿、塵埃、腐食性ガス、衝撃振動など異常環境下でのご使用はお避けください。
また有機溶剤や油脂類などが付着しないようにしてください。
- ・変形や大きな傷が有ったり、破損している丸型圧着端子は使用しないでください。
接触不良および焼損火災の原因になります。
- ・本製品は人命に関わるような状況で使用される機器に用いることを目的として設計、
製造されたものではありません。
- ・本製品を使用したシステムを設計される際は、システム側でフェールセーフとなるよう、
万一の故障に対して適切な処置を講じた上でご使用ください。

注意

- ・丸型圧着端子を差込む時は必ずレバーを上げてください。
- ・丸型圧着端子が挿入口の奥まで差込まれていることを確認の上レバーを下げてください。
- ・レバーを下げたあとは電線を引っ張っても抜けないことを確認してください。
- ・電線が抜ける恐れがありますので、レバーが下がっていない状態で使用しないでください。
- ・丸型圧着端子を差込む時以外はレバーは下がった状態にしてください。
- ・レバーを引き上げる場合はカチッという感触がする時点まで力を加え、
それ以上無理に引き上げないでください。
- ・丸型圧着端子を差込んだ後にレバーが所定の位置に戻らない時は差込が不足している可能性があります。
その場合は電線を前後左右に動かして位置を調整してください。
- ・丸型圧着端子は必ず決められたサイズで、汚れ、腐食、変色のないものを使用してください。
- ・当製品への接続は必ずスズメッキを施した丸型圧着端子をご使用ください。
Y型圧着端子やフェルール端子などを差込んで使用することは出来ません。
- ・破損する恐れがありますので丸型圧着端子以外のものを差込まないでください。
- ・予期せぬ破損や事故を防ぐためにレバー操作は工具などを用いず必ず手動で作業してください。
- ・レール上に並べて組み立てる際には、端子同士に隙間がないようしっかりと嵌合させてください。
- ・圧着端子は差込口中央寄りが平らな側になる方向で差込んでください。
向きを間違えると差込めません。
- ・離線する時はレバーを持ち上げたあとに、電線を軽く左右に揺らしながら引き抜いてください。
- ・本製品の接続可能回数は50回です。50回を超えて使用される際は新しい端子に交換してください。

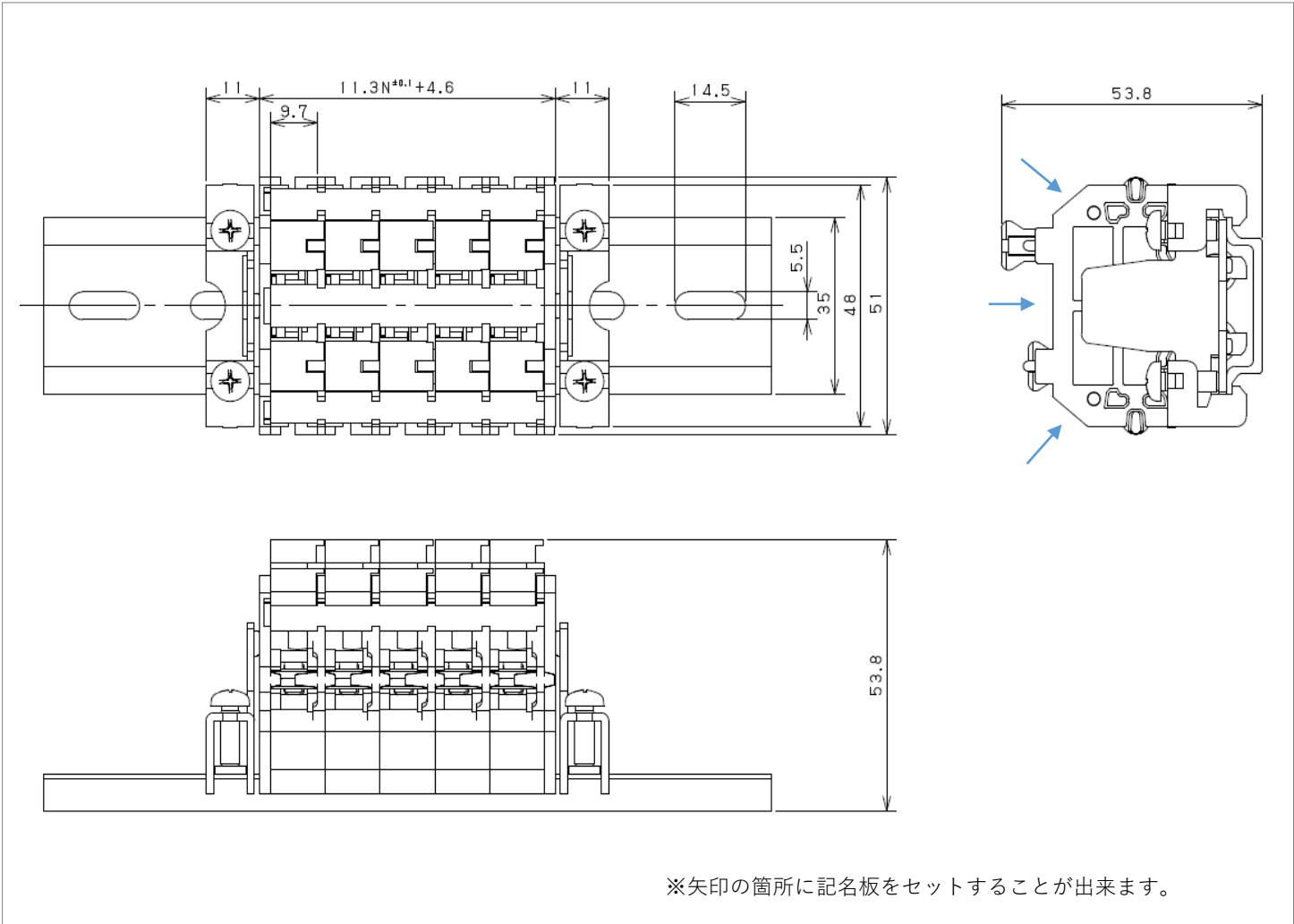
3.一般仕様

【定格】

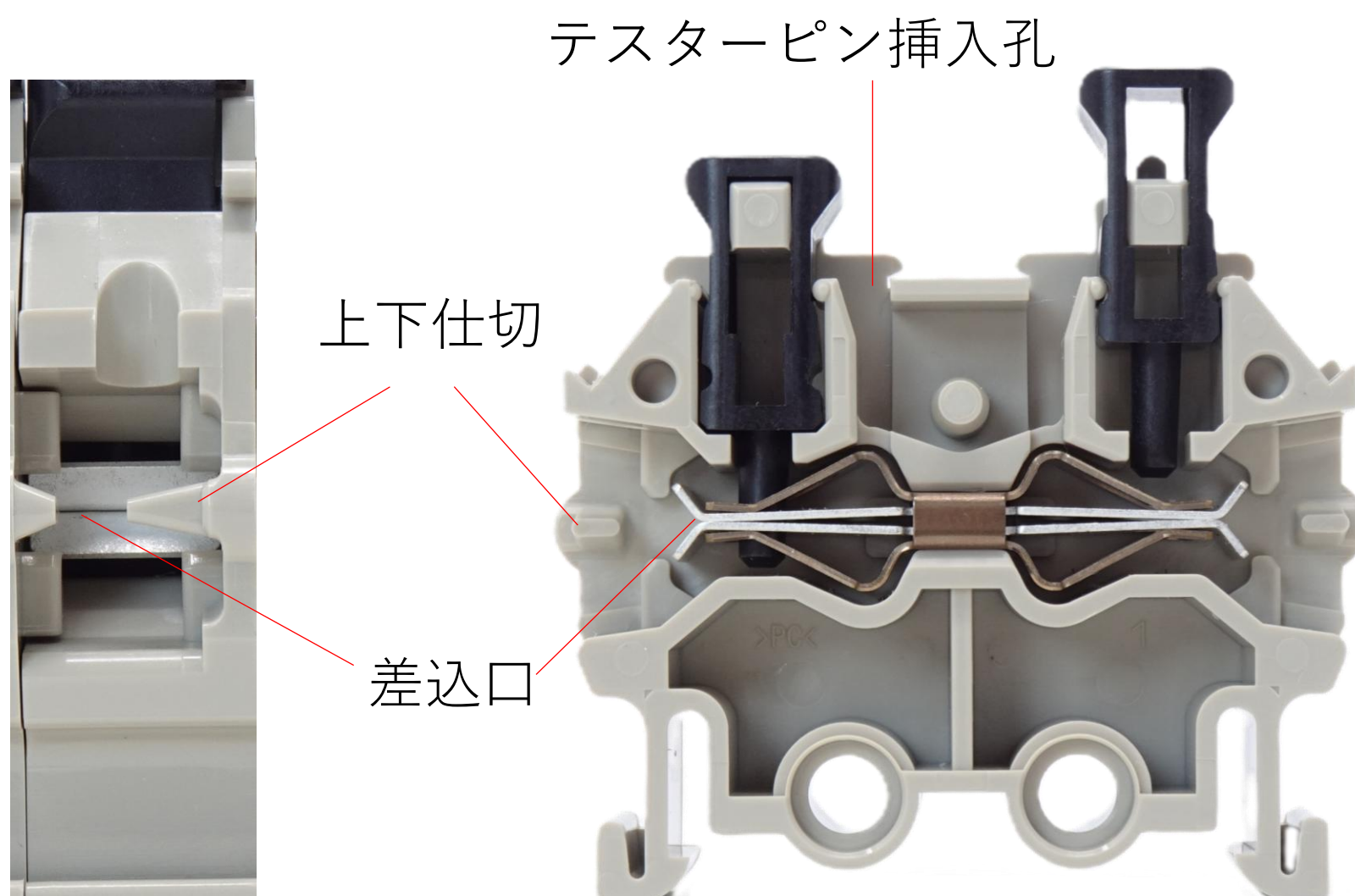
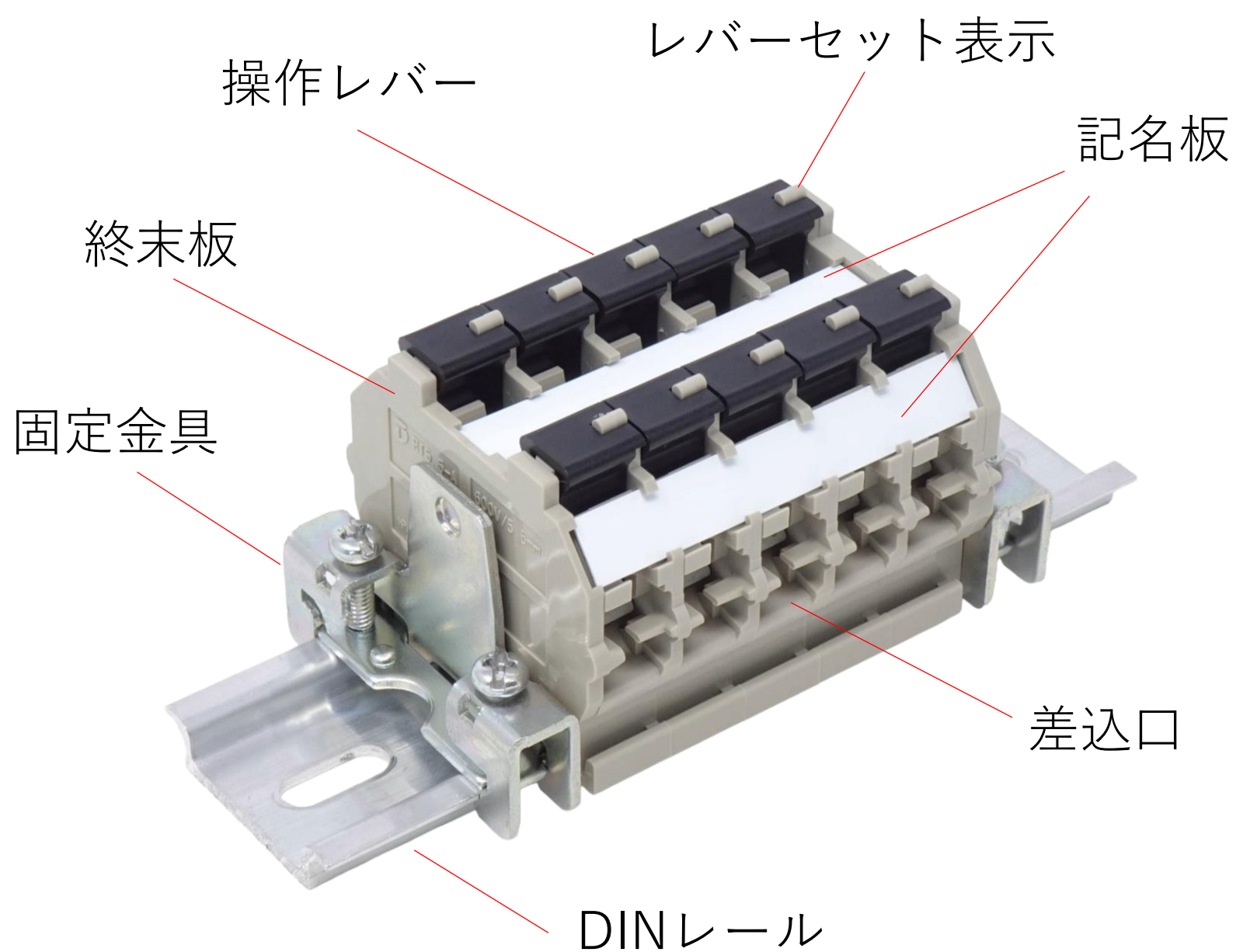
定格電圧	600V
定格電流	40A
適合圧着端子（※）	R5.5-4(絶縁被覆付き)相当品 (外形寸法同一品)
適合電線	MAX.5.5mm ² (1.25mm ² ～5.5mm ²)
耐電圧	AC2500V/1分間 (異極間/充電部一括-接地金属間)
絶縁抵抗	DC500Vメガにて1000MΩ以上 (異極間/充電部一括-接地金属間)
使用周囲温湿度	-20℃～+55℃
保存周囲温湿度	-25℃～+70℃

（※）推奨圧着端子は4ページの情報をご参照ください。

【外形図】

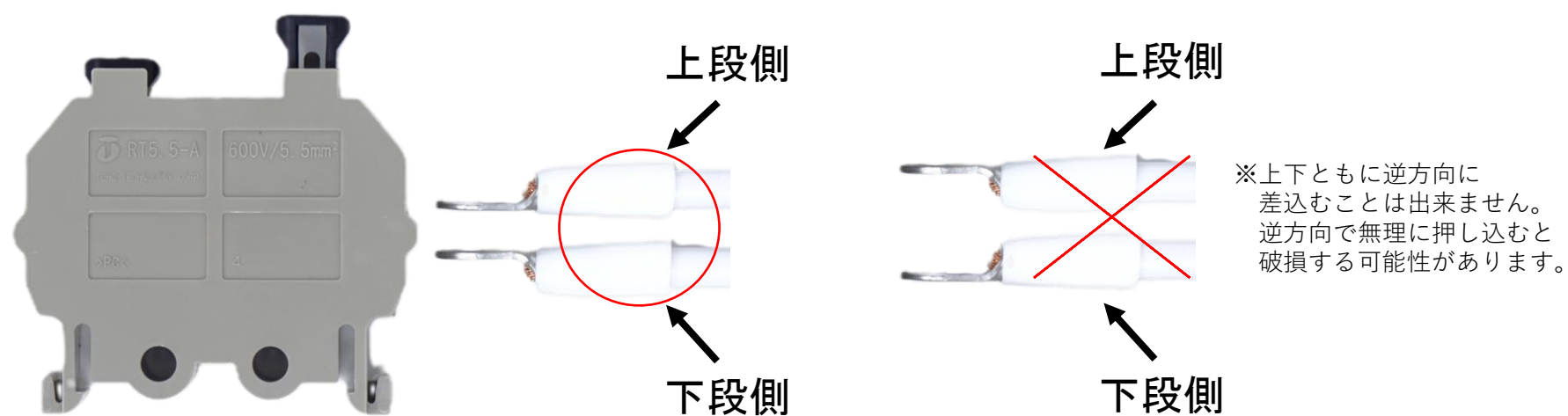


4.各箇所の説明



5.接続する上での注意事項

①丸型圧着端子の上下段それぞれの差込方向は下記の写真の通りです。



1本接続の場合…上下段いずれでも使用できますが、上段側を推奨します。
それぞれに差込む場合の丸型圧着端子の向きは写真の通りです。

2本接続の場合…

2本接続する場合は先に下段側を差込んだ後に上段側を差込んでください。

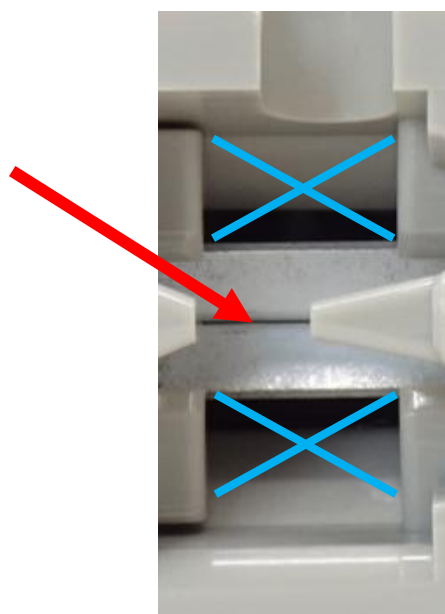
写真のように、圧着端子が背中合わせになるようにしてください。

(ねじ端子台に2本接続する場合と同様です。)

②写真のように絶縁キャップが丸型圧着の先端方向にずれた状態になると、正しく差込むことが出来ません。
その場合は絶縁キャップを正しい位置に戻した上で差込んでください。



③差込口は下の写真の赤矢印部分です。
その上下の青×印部分は差込む場所ではありません。



※上下2枚のターミナルの間に丸型圧着端子を差込みます。
最初に丸型圧着端子の先端がスムーズに入るよう、出来るだけ電線の先端に近い部分をしっかりと持って押し込んでください。

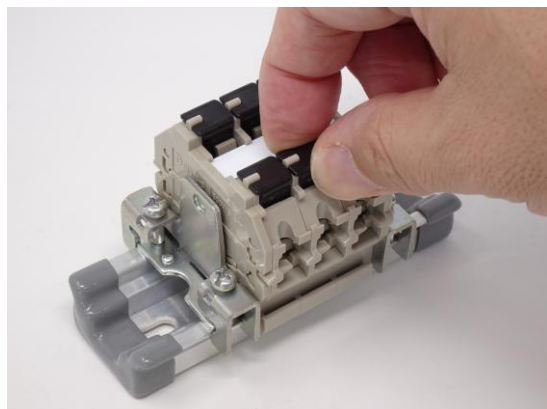
④レバーが所定の位置まで押し込まれると、写真の赤丸部分のように表示が出ます。
突起部がレバー上面より出っ張ります。



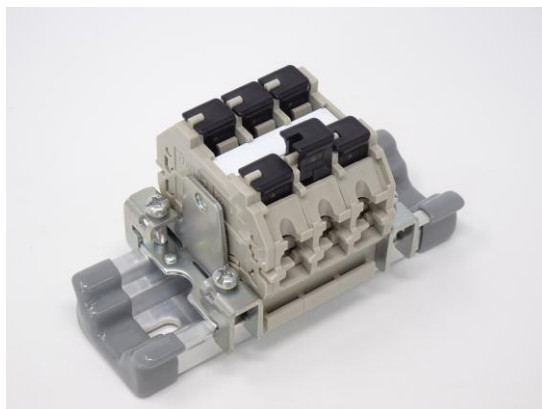
※突起が出ない場合はレバーが正しく押し込めていません。
その場合、丸型圧着端子がしっかり差込めていない可能性があります。電線を押し込むなど位置調整をした上で再度レバーを押し込んでください。

6.接続の手順について

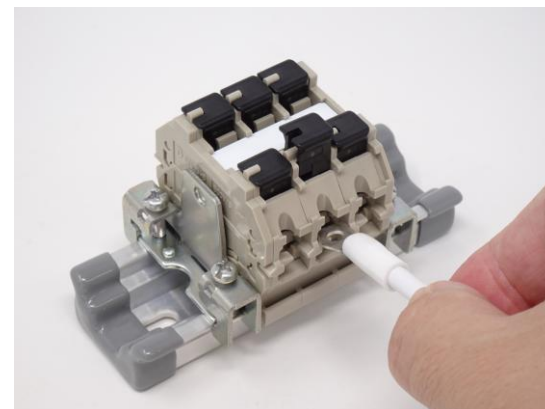
1本接続する場合の手順



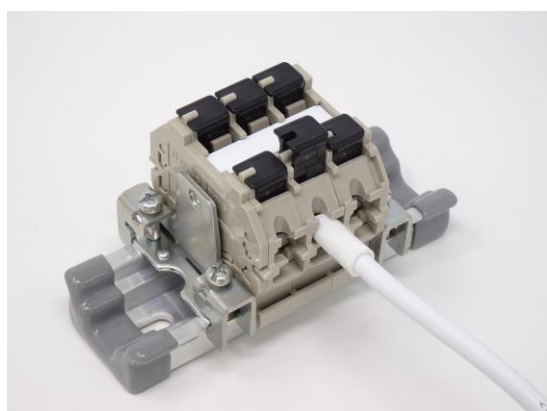
①黒いレバーのつまみを持って
上方向に引き上げる。



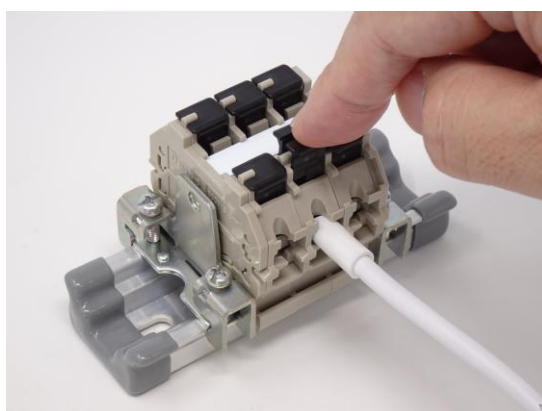
②カチッという音と感触がすれば
配線準備OK



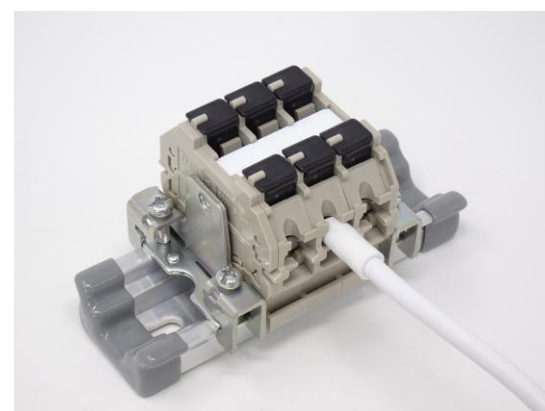
③上下仕切に沿って丸型圧着端子を
差込む。



④丸型圧着端子を押込めなくなる
までしっかりと差込む

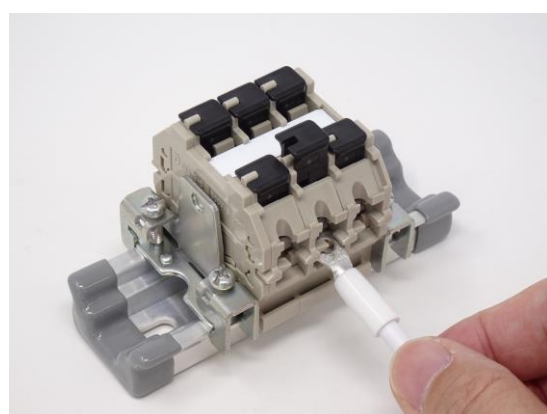


⑤黒いレバーを押込む

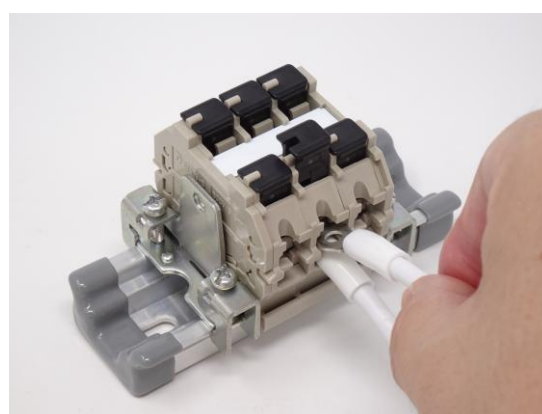


⑥電線を引っ張って抜けないことを
確認して配線完了

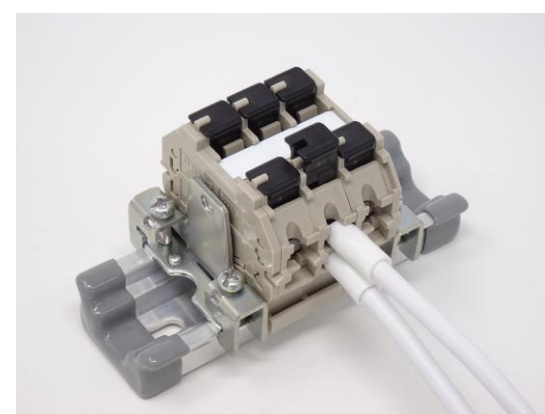
2本接続する場合の手順



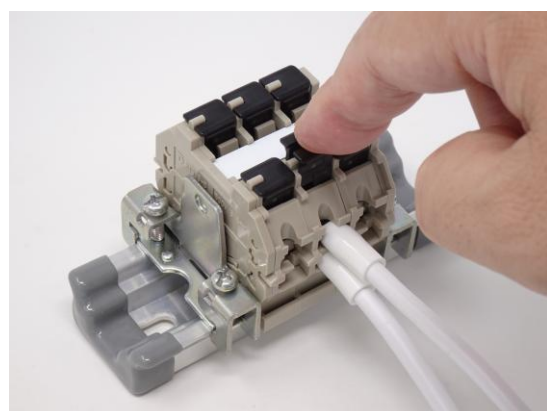
①黒いレバーが上がった状態で
先に下段側に差込む



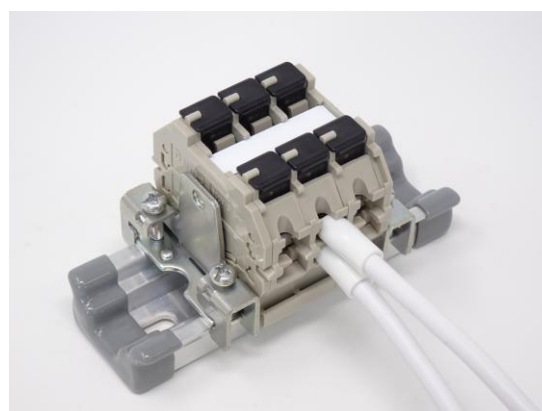
②次に上段側を差込む



③上下段ともに押込めなくなるまで
しっかりと差込む



④黒いレバーを押込む



⑤電線を引っ張って抜けないことを
確認して配線完了

離線する場合は、レバーを引き上げて差込んだ方向と逆方向に電線を少し左右に動かしながら引き抜いてください。

7.適合圧着端子について

(1) RT5.5に接続可能な丸型圧着端子台は下記一覧表をご参照ください。

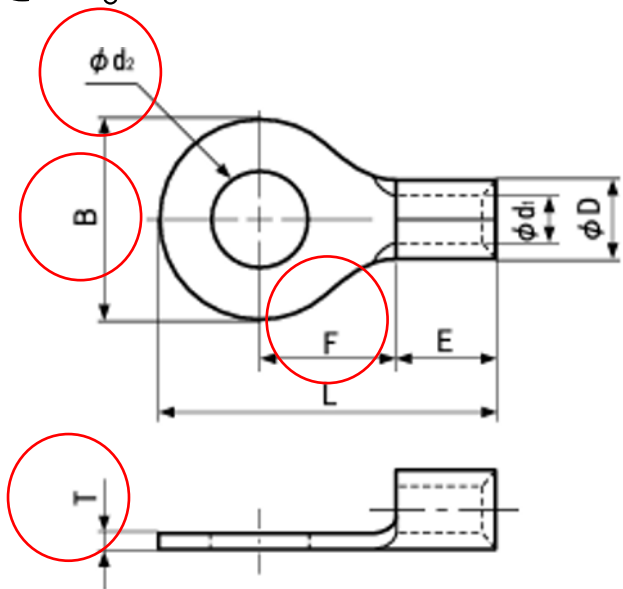
丸形圧着端子 仕様	JST	ニチフ	富士端子	大同端子	適用電線範囲	
					撚線	AGV
丸型圧着端子 (裸圧着)	R2-5	R2-5	2-5	R2-5	1.04～2.63	16～14
	R5.5-4	R5.5-4	5.5-4	R5.5-4	2.63～6.64	12～10
丸型圧着端子 (絶縁被覆付ストレート)	V2-5	TGV2-5	V2-5	RAV2-5	1.04～2.63	16～14
	V5.5-4	TGV5.5-4	V5.5-4	RAV5.5-4	2.63～6.64	12～10
丸型圧着端子 (絶縁被覆付F型)	FV2-5	TMEX2-5	BT2-5	RBV2-5	1.04～2.63	16～14
	FV5.5-4	TMEX5.5-4	BT5.5-4	RBV5.5-4	2.63～6.64	12～10

※詳しい仕様は圧着端子メーカーのホームページをご参照ください。（上記の情報は2026年7月現在のものです。）

上記以外の仕様については別途お問合せください。

(2) 丸型圧着端子を選定する上の注意ポイント

下図の赤丸部分の寸法は右側に記載されている数値を必ず守ってください。

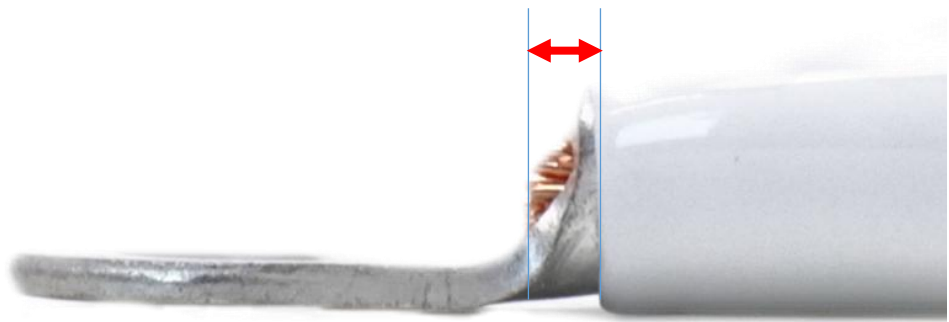


単位：mm

サイズ	ϕ	B	F	T
R2-5	5.3以上	9.5以下	7.3以上	0.8以上
R5.5.4	4.3以上	9.5以下	8.3以上	0.9以上

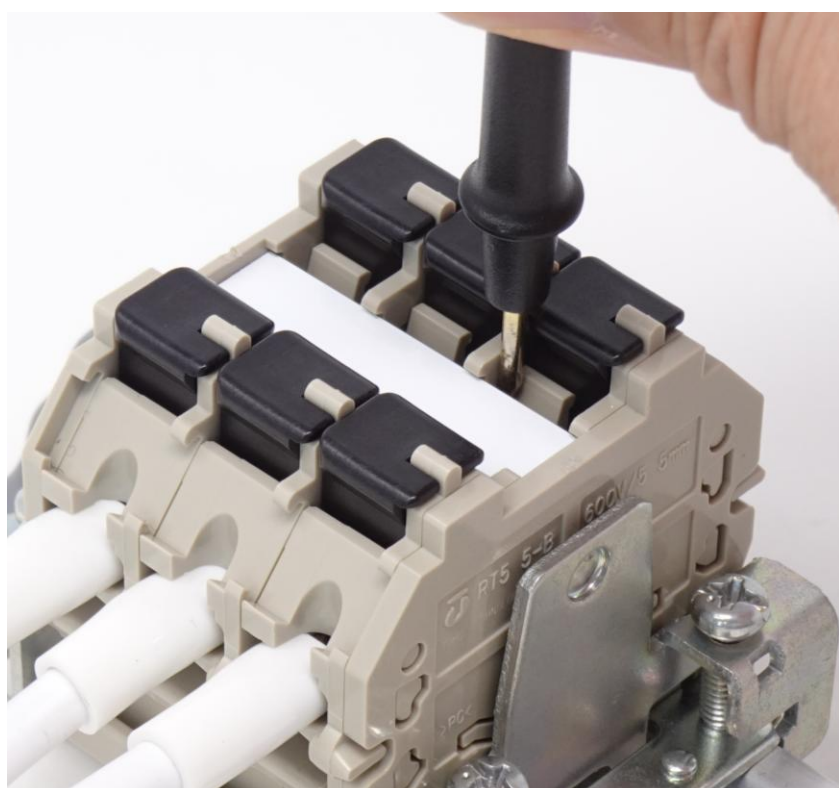
(3) 電線のはみだし許容値

丸型圧着端子からはみ出る導体は1～2mmとしてください。



8.テスターの使用について

テスターをご使用される際は、下記の位置よりピンを内部に差込んでください。ピンサイズは2φまで使用可能です。

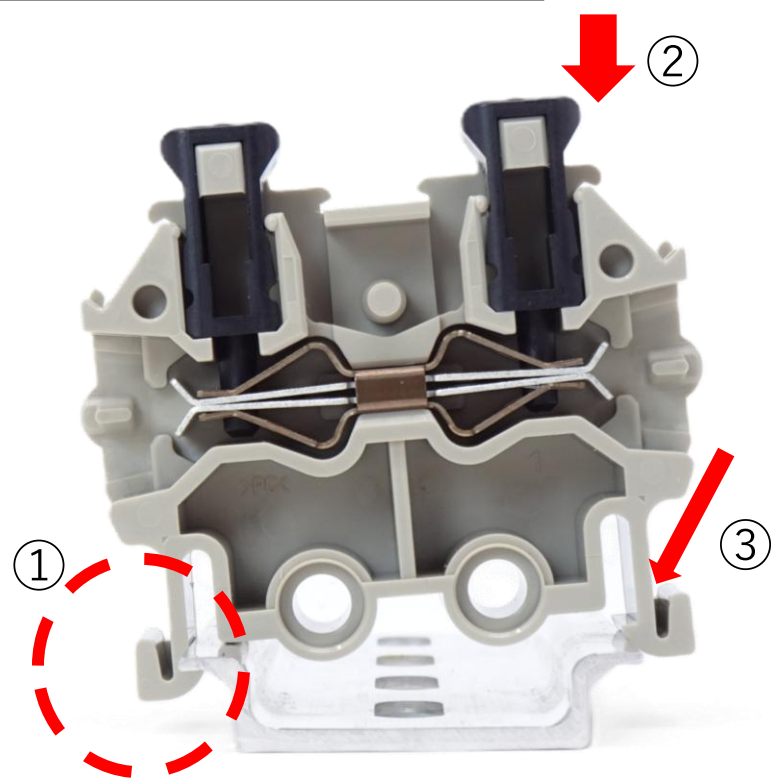


回路試験治具、耐圧試験治具の製作も可能です。

治具イメージ 作成中

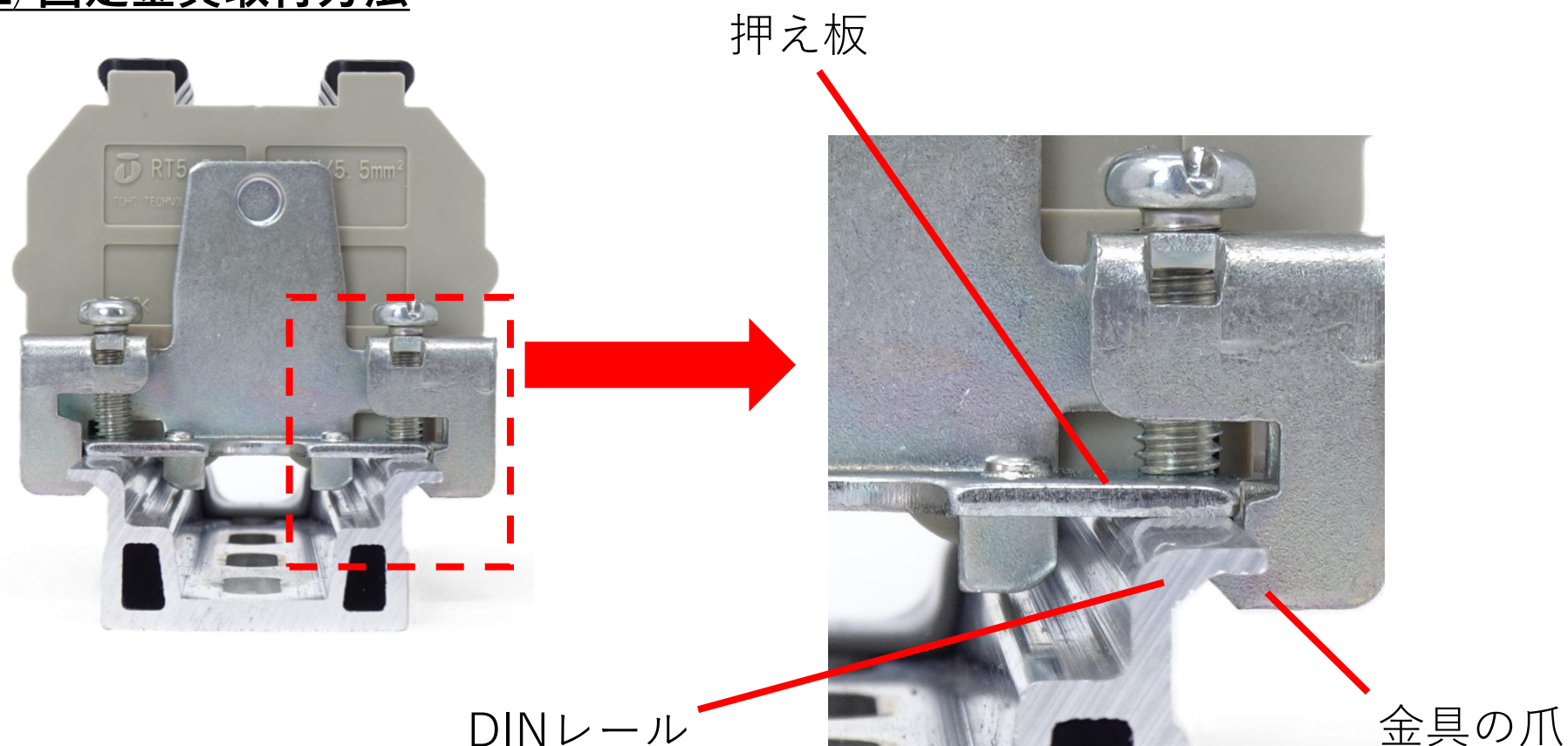
9.組立時のポイント

(1) レールマウント方法



- ① 端子台下部の爪を
DINレールの端に引っ掛ける
- ② 対角側の上部を真下に押し込む
- ③ 取り外す場合は、爪の外側の
溝にマイナスドライバーの
先端を差込み、爪が開くように
してください。

(2) 固定金具取付方法



35mm幅DINレールのエッジを、金具の両側の爪と押え板の間に通す。
端子の隙間が開かないように固定ねじを締める。（固定金具UK-bh2の場合）

(3) 終末板について

端子台の両端に使用する終末板は
2種類をセットで使用します。
端子台の内部構造が見える側に
RT5.5-A、その反対側にRT5.5-Bを
セットしてください。



RT5.5-A



RT5.5-B

10.保証について

【保証期間】

納入品の保証期間は、ご注文時に指定いただいた場所に納入後1年といたします。

【保証範囲】

上記の保証期間中に当社側の起因により発生した故障について、その故障部分の修理または交換を無償で行います。
ただし、次に該当する内容については保証範囲外といたします。

- (1) 不適切な取り扱いによる故障の場合
- (2) 故障の原因が当該製品以外の事由による場合
- (3) 当社以外で修理や改造などが行われた場合
- (4) その他、天災など不測の事態による場合

なお、当該製品の故障により発生した損害について、当社ではその責を負いかねますので予めご承知おき願います。

故障の内容により修理不可と判断される場合は、修理を辞退する場合があります。

11.技術サポートの問合せ先

メールアドレス：support@toho-tec.co.jp

電話番号：075-594-6408

受付時間：平日 9:00～17:00

12.各種QRコード



製品紹介ページ



PR動画



使用方法動画

東朋テクノロジー株式会社 エレクトロニクス事業本部 コンポーネント事業部 <https://www.toho.yoshida-elec.com/>

営業拠点 東京 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1番9-2 住友不動産神田和泉町ビル5階 TEL(03)6284-2740
名古屋 〒492-8501 愛知県稲沢市下津下町東5-1 TEL(0587)24-1230
近畿 〒607-8232 京都府京都市山科区勸修寺福岡町270 TEL(075)581-7175
九州 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目11番5号 アサコ博多ビル5階 TEL(093)285-3936
コンポーネント京都工場 〒607-8232 京都府京都市山科区勸修寺福岡町270 TEL(075)594-0199